

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		上下水道事業運営審議会事務		担当課	企業経営課	担当係	企業経営係	管理番号	3920
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1 都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	地方自治法				
	小項目	2 水の安定供給と下水処理の適正化							
	主要プロジェクト	0 (未使用)							
事業概要		市長の諮問に応じて、水道事業及び下水道事業の運営に関する重要な事項を調査審議する審議会の事務を行うものである。							
目的 ※何のために		持続可能な水道事業及び下水道事業の運営を行うため。							
対象 ※誰・何を対象に		水道事業及び下水道事業の運営に関する重要な事項							
手段 ※どのように		審議会を開催し、答申を得たのちに答申を反映させた事業を実施する。							
成果 ※何を求めるか		水道事業及び下水道事業の運営健全化							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・委員の選定及び委嘱				・市長への答申			
		・会議開催通知の発送				・答申の反映			
		・審議会のシナリオの作成				・			
		・審議会の進行				・			
		・議事録の作成				・			
		・委員報酬の支出				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.00	0.00	0.50	0.55	0.47	0.47
	人件費相当試算※	0	0	3,930,500	4,474,800	3,648,101	3,821,734
総事業費試算		0	0	3,930,500	4,474,800	3,648,101	3,821,734

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	審議会開催数		目標値	回						
			実績値		0	0	3	4	4	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			諮問内容により回数は変動するため目標値設定なし / 実績値						
	実績値の算出式									
活動指標 2	審議会における答申数		目標値	項目						
			実績値		0	0	1	1	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			諮問内容により答申数も変動するため目標値設定なし / 答申書						
	実績値の算出式									
成果指標 1	答申を反映し実施した割合		目標値	%						
			実績値		0	0	100	100	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			開催年度が未定のため目標値の設定はしないが、当該年度に100%の反映を目指す / 答申書						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和3年度は計4回の審議会を開き、そのうち第1回から第3回までは上下水道事業経営戦略の総合的な見直し（ローリング）に向けて審議を重ねた。その結果、改定について承認を得ることができた。 また、令和2年度決算や令和4年度予算について報告を行ったほか、公営企業会計の仕組みについて説明を行い、事業に対する理解の浸透を図った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	答申に係る諮問事項はなかったものの、上下水道事業経営戦略の改定について承認された。
			評価者 企業経営係長 小林 史尚

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	上下水道事業経営戦略の改定に係る審議に用いた資料について、改定案のほかに改定内容をまとめた資料を準備することで、円滑に審議が進むよう効率化を図り、審議時間を短縮した。
			評価者 企業経営係長 小林 史尚

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	上下水道事業運営審議会事務	担当課	企業経営課	担当係	企業経営係	管理番号	3920
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>上下水道事業経営戦略の改定など重要事項の審議など、上下水道事業の安定的で持続可能な運営に資する活動が行えている。今後も引き続き重要事項の審議等が円滑に進むよう事務を進める。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	企業経営課長	村尾	厚彦		

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

